



遠大勵志

PTA進路講演会

東京大学 玄田有史先生

9月8日(土)13:30から15:00まで、黒陵会館において、東京大学の玄田有史(げんだゆうじ)先生を講師としてお迎えし、PTA進路講演会を開催しました。

演題は「グローバル化が進む中で、キャリアデザインをどう描けばよいのか～現在の社会情勢をどのようにみるか?保護者の立場で子どもにどう関わっていくのか?」。

およそ120名の保護者の方々に参加いただきました。

玄田先生の軽妙な語り口と、時には笑いを取りながらの話に楽しく有意義な学びの時間を過ごすことができました。その中のいくつかを紹介します。



■ 宇宙飛行士にむいているのは?

「なれるなら桃太郎と浦島太郎のどちらになりたいですか?」

宇宙飛行士には浦島太郎タイプが向いている。

理由:浦島は、思いもかけない想定外の事態に翻弄されるが、その時に自分なりに判断して行動している。わからない世界の中での結果は成功とは言えないかもしれないが、やるだけのことはやって後悔はしていない。いい意味で開き直れている。

■ フジテレビプロデューサー、吉本興業東京本部長をされた「横澤彪」の新人研修での言葉

「マネージャーとして現場で学ぶことはたくさんあるが、その中には必ず壁がある。その壁は乗り越えられないかもしれない。しかし、大事なことが一つある。壁の前でちゃんとウロウロしていることだ。皆さんに期待していることはそれだけ。」
=壁にぶち当たると最初は、呆然としてウロウロするしかない。ウロウロするうちにある日突然、壁に亀裂があるのを見つけ、そこを石でたたいて行けちゃうことがあるかもしれない。ヘリ

コプターが偶然、壁の前でウロウロしている人を見つけ、ロープで引き上げて壁の反対側に降ろしてくれるかもしれない。(誰が何のために自分にロープを垂らしてくれたかはわからないが)【必然的偶然理論】

AKB48のプロデューサーの秋元康さんも「壁にぶち当たったら、壁に沿って歩き続けることが大事」と話している。

■ 希望とは、人から与えられるものではない

自分が苦しい中でも希望を作ろうとするから希望ができるのだ。希望は家を作るように4本の柱を立て自分で作るもの。

Hope(希望) is a **Wish(気持ち)** for **Something(具体的に何かに思いを込める)** to **Come True(実現したい)** by **Action(動きがく)**

■ 先の見えない時代に必要なものは三つの「カン」

感(嬉しい、楽しい、悔しい、苦しい)【小学校低学年】



勘(これぐらいなら、微妙なさじ加減)【小学校高学年】



観(こうありたい=自分で自分の人生を)

私たちがこれからの時代を生きていくためにどうあればいいのか、大変示唆に富む素敵なお話を頂きました。

生徒の皆さんにも聞かせたい内容だったように思います。玄田先生にはお忙しい中、時間を割いていただき、深く感謝申し上げます。

決定! 第71回秋季

東北地区高校野球

県大会組合せ



2回戦 日 時:9月17日(月)14:00~

場 所:花巻球場

対戦校:遠野高校と盛岡市立高校との勝者

(9月16日に決定)

みなさんで応援しましょう!! 頑張れ、野球部!!!